

愛媛教区報

教区长あいさつ

「立教百八十二年の年頭にあたって」



愛媛教区长

神田 尚久

新春を迎えられお慶び申し上げます。

常日頃は、教区、支部の活動の上にご尽力下さり誠にありがとうございます。

顧みますと、昨年は目まぐるしい一年でありました。

特に7月に発生しました西日本豪雨災害に際し、大洲市、宇和島市の天理教災害救援ひのきしん隊の宿営地に

発行所 〒790-0852
天理教愛媛教務支庁
松山市石手5丁目8-27
TEL 089-921-7372
FAX 089-932-3521

大勢の隊員が入隊され、2カ月に及ぶ活動が展開されました。

その最中に、大亮様、表統領先生のご視察もあり、被災教会のお見舞い、隊員への激励を頂戴致しました。現在も被災地の復興は途上がありますが、教区管内の皆様方には、多大な支援を賜りましてありがとうございます。

また懸案の結婚支援の活動も、「天理教愛媛教区シンクルネット・TESEN」を設置し、「atte」という名称でパーティーを初めて開催しました。大変好評を得ましたので、今後も開催を検討させて頂きたいと思っております。

さらに表統領先生を再度、教務支庁にお招きしての「表統領先生を囲む会」があり、終盤には「天理時報普及推進大会」も催しました。

本年も、婦人会、青年会、少年会、学生担当委員会の活動をはじめ、各部の行事を通して、よつぱく同士の陽気ぐらしの輪が一層広がるように、教区活動を推進して参りたいと思いますので、何卒ご協力、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

社 友 会

天理時報普及推進大会 開催

12月1日愛媛教務支庁を会場に、「天理時報」普及推進大会を開催、約140人の管内教会長を始め各関係者が参加した。

神田尚久教区長の開講挨拶の後、時報の普及活用と手配りに関するDVDが上映された。

この後、西浦忠一道友社前社長が講師として登壇した。

昨年10月の「天理時報」手配り10年ひのきしん者感謝の集いにおける真柱様のお言葉をもとに話を進められ、「手配りは、報恩感謝のひのきしん御恩報じの御用である、御恩報じを胸に治めて一人でも多くの方々と手配りひのきしんに励み、教祖に喜びいださける道を、精いっぱい進ませてください」と講話を締めくくった。

この後、手配りに携わる教友三人が体験発表した。

閉会の挨拶で代表社友から、天理時報の3部増部、未購読教会を無くそうと、呼びかけ、参加者一同、更なる実働を誓い合った。

愛媛教区代表社友

三浦 義雄



天理時報の魅力を熱くお話しされる
西浦忠一先生



代表社友挨拶



会場の様子



教区長挨拶

「体験発表」をされる3氏



藤堂光久 (宇和島支部)



土居昭美 (松山北支部)



三宅嘉晴 (宇摩支部)

少 年 会

少年会愛媛教区団総会 開催

11月23日、教務支庁を会場に少年会愛媛教区団総会を、少年会員154名、育成会員83名、合計237名の参加者で開催させて頂きました。

祭儀式を今年参加してくれた少年ひのきしん隊員で、座りづとめを少年ひのきしん隊員及びわかぎ層でつとめさせて頂きました。

続いてよろづよ八首・後半下りを各支部交代で陽気につとめさせて頂き、おつとめ後、少年会長様の告辞を代読、团长挨拶後、祭主をつとめてくれた宮崎光太郎君の手に合わせて三殿礼拝で午前の部を終了しました。

昼食後、少年ひのきしん隊の活動を編集したDVDを上映し、参加した隊員達に感想や思い出を語ってもらい、

来年の少年ひのきしん隊本部練成会の参加をお願いしました。

午後のお楽しみ行事として、今年も室内オリピックを各支部対抗で行い、順位を競いました。

育成会員の先生方、ご尽力いただき誠に有難うございました。

少年会愛媛教区団長
武内 末博



天理直行高速バス

1月添乗担当者 釣井 政輝
090 1172 3626
高速バス専用携帯電話
080 2991 7372

諸願書受理

(11月お運分)
伊豫大田分教会(川之江)
▽移転願
今治市吉海町名1468番地

(12月お運分)
陽幡分教会(大江)
▽移転願
八幡浜市栗野浦190番地

法人関係諸願書届

内子分教会(高岡)
▽合併承認願
喜多青分教会を
内子分教会へ合併

修理人巡教 予定

1月 宇摩支部

計報

次の方がお出直しされました。
慎んで哀悼の意を表し、その労を
お構い申し上げます。

土居 義範さん 享年83才
浦鶴分教会前会長(高岡)
出直日 立教181年11月13日
岡本 幸雄さん 享年88才
京松山分教会会長(京城)
出直日 立教181年11月23日

菅 恵さん 享年91才
八町分教会前会長(愛媛)
出直日 立教181年11月23日

教区一れつ会より

立教百六十五年十一月より各支
部に開設いたしております一れつ
会寄付金窓口であります。皆様
方のご協力を賜り、件数も大幅に
増え、感謝致しております。
今後共、個人、教会、団体での
尚一層のお心寄せの程、宜しくお
願い申し上げます。

一れつ会寄付金報告

宇摩支部	1件	13、300円
今治支部	9件	11、500円
松山北支部	2件	4、500円
松山南支部	2件	2、000円
松山西支部	2件	7、000円
松山東支部	3件	18、000円
喜多支部	1件	3、000円
西宇和支部	7件	16、000円
東宇和支部	3件	8、000円
宇和島支部	11件	23、000円

12月10日現在

教区の予定(1月)

9日	松山東支部	例会
	松山北支部	例会
7日	教区祭	
12日	教区報編集会議	
19日	女子青年例会	
22日	福祉部例会	
23日	教区輸送会議	
28日	少年会例会	
30日	移動例会	
	主事会・常議会	(31日)

Q10 献血すると記念品がもらえるのですか?

日本赤十字社は、献血者の善意に報いるため、わが国の社会通念の中で感謝の気持ちを表す品を、献血の記念品として提供しています。
2002年(平成14年)8月31日に、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)において有料での採血などの禁止する部分と、その罰則にかかる部分が施行されました。日本赤十字社としては、有料採血禁止規定の施行に伴い、国内はもとより海外の分画製剤製造業者の団体「血漿たん白製剤協会(PPTA)」などから、日本における献血者の無償の善意を傷つけられたり、無償ということにいささかなりとも疑われることがあってはならないので、今後、売血ともとられかねない処遇や、物品の提供により、国内の献血者の貴い気持ちが傷つけられる様な行為は、一切行わないことと致しました。

